

微生物学 II

Microbiology II

生命 : C2-08221MS

基礎科目 2 年／後期 1.5 単位 必修科目

科目責任者 森田 雄二(感染制御学研究室)

■ 教育目的

感染症の病態、予防法および治療法を理解し考えられるようになるために、病原微生物学各論として主な感染症の原因となる細菌、真菌およびウイルスの特徴についての基礎を修得する。【卒業認定・学位授与の方針 : SD-②】

■ 学習到達目標

1. 代表的な病原細菌の性状とそれが引き起こす感染症を説明できる。(知識)
2. 代表的な病原ウイルスの性状とそれが引き起こす感染症を説明できる。(知識)
3. 代表的な真菌症について説明できる。(知識)
4. 代表的な原虫・蠕虫感染症について説明できる。(知識)

■ 準備学習(予習・復習)

予習 : 感染症とその原因微生物について、日頃から関心をもち予備知識を得ることを心がける。次回講義内容に該当する教科書ページに目を通しておく(20 分以上)。

復習 : 教科書、講義資料などを見直して知識を整理し理解を深める(30 分以上)。

■ 授業形態

講義

■ 授業内容

代表的な細菌、真菌、原虫・蠕虫やウイルスが引き起こす疾患について講義する。

No.	項目	授業内容	備考・SBO コード
1	細菌感染症各論(1)	グラム陰性菌による感染症 その1	
2	細菌感染症各論(2)	グラム陰性菌による感染症 その2	
3	細菌感染症各論(3)	グラム陰性菌による感染症 その3	
4	細菌感染症各論(4)	グラム陽性菌による感染症 その1	
5	細菌感染症各論(5)	グラム陽性菌による感染症 その2	
6	細菌感染症各論(6)	放線菌目、マイコプラズマによる感染症	
7	細菌感染症各論(7)	その他の細菌による感染症	
8	真菌感染症各論	真菌による感染症	
9	原虫・蠕虫感染症	原虫や蠕虫による感染症	
10	ウイルス感染症各論(1)	DNA ウィルスによる感染症	
11	ウイルス感染症各論(2)	RNA ウィルスによる感染症 その1	
12	ウイルス感染症各論(3)	RNA ウィルスによる感染症 その2	
13	ウイルス感染症各論(4)	レトロウイルス・肝炎ウイルスの感染症	
14	ウイルス感染症各論(5)	抗ウイルス薬	
15	まとめ	第1～14回までの講義のまとめ	

■ 授業分担者

森田 雄二(No. 1～7, 10～15)、鴨志田 剛(No. 8, 9, 15)

■ 課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

期末試験の成績(100%)で評価する。

■ 教科書

『第7版 薬科微生物学』 杉田隆、安齊洋次郎 編(丸善株式会社)

■ 参考書

『薬学領域の病原微生物学・感染症学・化学療法学[第4版]』 増澤 俊幸・河村 好章 編(廣川書店)

『薬学生のための微生物学と感染症の薬物治療学』 増澤 俊幸 著(羊土社)